

【Aブロック準決勝、中標津一連合】5回、コールドの危機。マウンドに集まり、士気を高める連合



ミスで投手に負担

連合

○釧路、根室管内をまたぐ5校連合は、距離のハンデを乗り越えて7月末に結成。限られた時間で技術を磨き、チームワークを醸成した。初回2死から3連

打で1点先取。その裏の守備で併殺完成。堂々とした戦いぶりを見せた。主将の手塚豊(白糠2年)は初回に先制したのはよかったが、ミスが続いて投手に負担を掛けた。もつと声を出して戦うチームをつくっていきたい」と来春を見据えた。森川快刀監督は「試合の流れを引き寄せられなかった。なぜ負けたのかを考え、力を付けていききたい」と話した。



中標津が2本のランニング本塁打など走力を生かした攻撃で圧倒、2017年の夏以来の代表に主手をかけた。初回に3連打で先制を許したが、裏の攻撃で1番株田が四球、2番小森の犠打、3番阿部の内野安打で1死一、二塁とすると、4番池野の右前適時打で同

高校野球の第73回秋季北海道大会創根支部連
(道高野連など主催)は大会2日目の9日、創路
市民球場でAブロック準決勝2試合を行った。第
1試合の中標津・阿寒・霧多布・釧商業・白糠・
羅臼の5校連合は、中標津が集中打で引き離し11
ー1で五回コールド勝ち。第2試合の釧江南・釧
湖陵は、初回に先制して主導権を握った釧江南が
6ー2で快勝した。大会3日目の10日は、Bブロッ
ク準決勝2試合を行う。(會田俊実、山本雅之)

○新チーム初戦で10安打1得点、五回コールド勝ち
ちと攻撃力の高さを見せたなかで標準。今大会第1号のラ

点に追い付いた。さらに5番高橋の右肩打で2点を奪い勝ち越した。三回にはつ番小森、3番阿部が連続で

2ランニング弾で圧倒

○…新チーム初戦で10安
ちと攻撃力の高さを見せた
打1得点、五回コールド勝
中標津。今大会第一号のラ

【Aブロック準決勝、中標津一連合】
3回、右中間を深々と破る大飛球を
放ち、疾走する中標津の阿部。ラン
ニング本塁打に

ニンング本塁打を放った小森陸（１年）は「ファーストストライクを狙っていた」と笑みを浮かべ、「外野を抜ける感覚があった。二塁上で本塁まで行ける」と判断できた」とも語った。

続けて第２号を放った岡部連介（２年）は「小森の直後でアレクシヤーはあった。出塁しようという気持ちだった」と振り返った。次戦の代表決定戦について「勝ては全道。野球を楽し

続けて第2号を放った阿部進介(2年)は「小森の直後でプレッシャーはあつた。出塁しようという気持ちだった」と振り返った。次戦の代表決定戦について「勝てば全道。野球を楽し

ランニング本塁打。四、五回にもう点ずつを奪ひし得点。投げては先発長田が立ち直り、一回は三着連続三振を奪ひ、三回以降も無失点で抑え、五回コールドとした。

「みたい」と話した。

「Ａブロック決勝について、中島智人監督は「相手は間違いなくいいチーム。われわれにできることを精いっぱいやりたい」と言語絶えた

連合は初回に先制。裏の守備では羅臼高校の内野陣の連携で、今大会初の併殺を奪取。攻守で見せ場をつくったが、一回以降は打線が振るわず涙をのんだ。

Aブロック	津		11-1	
	中標			
	鍛白・阿寒・白糠・釧路多布			
	9月12日 10:00			
	明輝	4-2		
	湖陵	6-2		
Bブロック	江			
	南			
	工		9月10日 10:00	
	厚岸翔洋			
	武修館		9月12日 12:30	
	北陽	7-0		
	別海		9月10日 12:30	

[illegible]